

音楽劇 詩人の恋

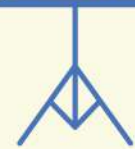
Old Wicked Songs by Jon Marans

作:ジョン・マランス 訳:小田島恒志

訳詞:岩谷時子 演出:藤井ごう

出演:加藤健一 加藤義宗

加藤健一
事務所
vol.119



2025年1月22日(水) ≧ 2月2日(日) 下北沢・本多劇場

	1/22 水	23 木	24 金	25 土	26 日	27 月	28 火	29 水	30 木	31 金	2/1 土	2 日
14時	★	●	●	●	●	●	●		●	●	●	◎
19時								●				

〒155-0031 東京都世田谷区北沢2-10-15
TEL.03-3468-0030

※開場は開演の30分前です。

■チケット(全席指定・税込)

前売:6,600円(6,000円+税) 当日:7,150円(6,500円+税)

高校生以下:3,300円(3,000円+税) ※当日券のみ取り扱い、要学生証提示

※当日券は開演の1時間前より劇場にて毎公演販売いたします。(枚数に限りがあります)

※空席状況により、開演の2時間前まで加藤健一事務所まで当日券の電話予約を承ります。

★1月22日(水)終演後にミニイベントを行います。内容は当日までのお楽しみです。

◎2月2日(日)13時より、目の不自由なお客様を対象とした舞台装置の説明を行います。

いずれも当日のチケットをお持ちの方はどなたでもご参加いただけます。

チケットご予約方法 前売開始:2024年12月1日(日)10時より

A 電話予約の場合

座席はお選びいただけません

B インターネット予約の場合

座席はお選びいただけません

C 加藤健一事務所江古田スタジオにて直接ご購入の場合

1月17日(金)まで

座席表からお好きなお席をお選びいただけます

※電話予約をしてからお振込みください。

■電話予約・お問合せ

加藤健一事務所 TEL.03-3557-0789

受付時間 10:00~18:00(公演期間中は11:00~17:00)

電話番号のお間違いのないようにご確認ください。

ご予約後のキャンセル・変更はできませんのでご注意ください。

※チケット送付時に同封するチラシを2枚以上ご希望の方は、ご予約の際にお申し付けください。

加藤健一事務所

ホームページ内の

予約フォームより

お申し込みください。

<http://katoken.la.coocan.jp/>



西武池袋線江古田駅北口より徒歩3分
(池袋から各駅停車で3つ目)
お車でのお越しはご遠慮ください。

※お支払い方法は現金のみです。



A・B のご予約後のお支払い方法

【郵便振替】 ご予約の際にお伝えする入金締切日までに、お近くの郵便局からお支払いください。同封の振替用紙(赤枠のもの)をご利用ください。

※振替用紙の必要事項のご記入もお忘れなく!

【銀行振込】 三菱UFJ銀行 新宿中央支店(普)5166724 加藤健一事務所チケット口

【加藤健一事務所でお受け取り】 電話予約日の翌日から1週間以内に加藤健一事務所(3F)で代金(現金)と引換でお受け取りください。

チケットは、お振込みから
2週間程でお送りいたします

Old Wicked Songs by Jon Marans

音楽劇 詩人の恋

作: ジョン・マランス
訳: 小田島恒志
詞訳: 岩谷時子
演出: 藤井ごう

カトケンワールドでこれまで計4回も上演した人気作品の一つ、『詩人の恋』。

今回は演出にカトケン事務所初登場の藤井ごうさん、二人芝居の相方に加藤義宗さんをお迎えし、“令和版・詩人の恋”としてお贈りします！

●作者ジョン・マランス

1957年、アメリカ・メリーランド生まれ。劇作家のほか、脚本家、作詞家、編集者としても活躍。デューク大学での専攻は数学を、音楽を副専攻で学ぶ。1996年『詩人の恋』(原題: Old Wicked Songs)でピューリッツァー賞にノミネート。2013年、グッゲンハイム・フェローシップ受賞。

●『詩人の恋』

1995年、ウォルナット・ストリート・シアターにて初演。全米での上演後、12カ国以上で翻訳・上演され続けている。ジョン・マランスが大学在学中の1978年、ウィーンで声楽を学んだ経験が、この作品を書くきっかけとなった。

●加藤健一事務所『詩人の恋』上演歴

2003年、2006年、2008年、2011年

演出: 久世龍之介 マシユカン教授: 加藤健一 スティーブン: 畠中洋

「菓子パン食うか？私のおごりだ。18シリングでいい。」
「この喜びと悲しみの組み合わせ―
これこそ本当に美しい音楽の核となるものだ。
ドラマの核、あるいは人生の核となるのもこれだ。」
マシユカン教授 加藤健一
「四歳のとき、みんなから神童だと言われました。
でもそうじゃなかった。ただ物真似がうまかつただけです。
音楽に情熱を駆り立てられたわけじゃない。」
スティーブン 加藤義宗

今年10月まで暑い日が続きましたが
いかがお過ごしでしょうか
本日は加藤健一事務所にて『詩人の恋』を再演する事になり
ご案内をお送りいたしました。
私自身この『詩人の恋』が本当に好きな作品で個人的に
加藤健一事務所の代表作の一つだと思っています。
この公演に向けて三年前から声楽のレッスンを始めました。
最初の頃はいつ公演するのかも分かっていない状況からの
スタートだったのですが、ようやく実現となりました。
公演に向けての準備期間としては自身最長の期間を
経ての公演となります。ぜひご期待ください。

また私は2020年より義庵(ぎあん)という
7人ユニットを主宰しており
2025年6月15日~22日まで新編シアターボックスにて
『リチャード三世』を上演いたします。

『詩人の恋』『リチャード三世』この二作品が自分の
役者人生にとってとても重要な作品になると考えています。
ぜひ劇場にて目撃していただきたいです。
義庵 加藤義宗

